

名称

現場問題点の評価シート

期待するアウトプット

- 現場の生産性、5S、ルールの遵守状況を定量的に評価し、問題の発生している職場に自立的に改善を促す。

構成

現場問題点の評価シート

- ① 評価者用シート
- ② 評価結果シート

使用目的と特徴

- 年に1度経営幹部が製造現場を視察し、評価視点に基づき評価を実施する。その後、評価結果を現場全体に報告し、改善を促す。

シート開発・設計のポイント

- 評価視点の設定、評価スコアの設計。
- 全職場が横比較できるような評価視点・スコアを定義する。

シート活用・展開のポイント

- 職場間比較を行い、職場ごとの問題点を明確化し改善の必要性をアピールすること。
- 定期的(年に1度など)に開催し、改善度合いを評価することも意欲付けには重要。

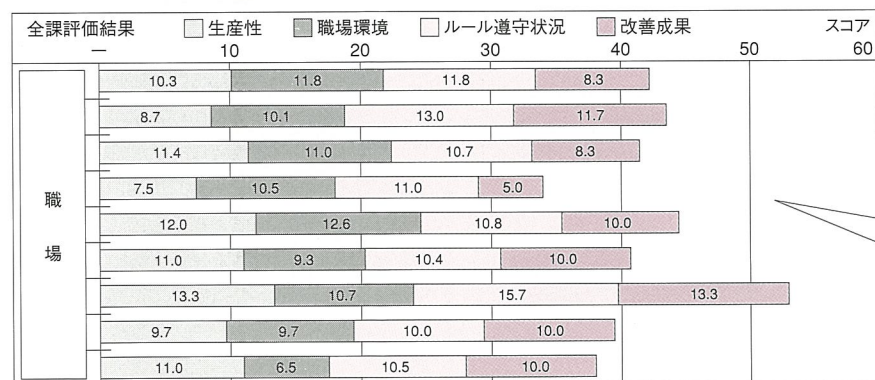
1 評価者用シート

現場の問題を具体的に16項目設定し、複数職場を共通の視点で評価できる

区分	No.	評価項目	評価点	指摘事項	
				対象	詳細内容
生産性	1	作業中手待ちが発生しないような作業分担・方法になっている	1・2・3・4・5		
	2	治具などを有効に活用している	1・2・3・4・5		
	3	余計な取り置きが発生しないような効率的なレイアウトになっている	1・2・3・4・5		
	4	仕掛品は必要以上に置かれていない	1・2・3・4・5		
	5	余計な歩行が発生していない	1・2・3・4・5		
作業環境	6	不急・不要なものが現場に置いていない	1・2・3・4・5		
	7	何の置き場か一目でわかるようになっている	1・2・3・4・5		
	8	表示物や掲示物が見やすく貼っている	1・2・3・4・5		
	9	設備、床面の清掃が行き届いている	1・2・3・4・5		
	10	設備の不具合がない	1・2・3・4・5		
ルール遵守状況	11	進捗管理板や色別カードなど正しく運用されている	1・2・3・4・5		
	12	不良を流出させないように検品作業を正しくおこなっている	1・2・3・4・5		
	13	作業者の意欲が高くなる仕掛け（生産性の掲示）などがある	1・2・3・4・5		
	14	自主保全項目の実施など決めたことが守られている	1・2・3・4・5		
	15	安全対策が十分実施されている	1・2・3・4・5		
改善成果	16	改善テーマ定着状況（テーマは別紙参照のこと）			

16項目の問題に対して、具体策を検討するために、問題点の詳細を記入する

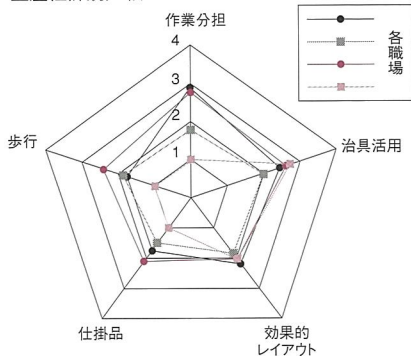
2 評価結果グラフ



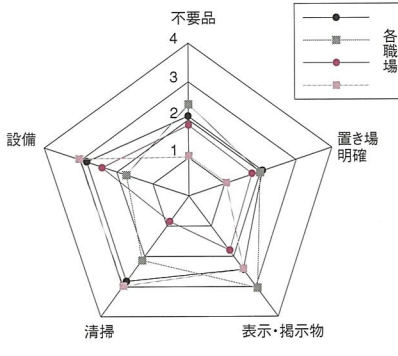
職場別の強み弱みを横並びで確認。優秀職場の把握と横展開計画を検討する

定期的に診断し、各職場の改善状況（成長度）を確認することも可能

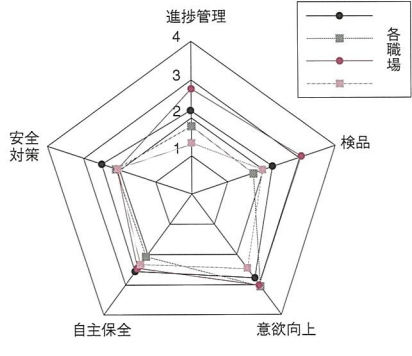
生産性課別比較



作業環境課別比較



ルール遵守状況課別比較



● 評価用シートの記入例

対象工場	対象課	生産性	職場環境	ルール遵守状況	改善成果	合計
〇〇〇	〇〇〇	11.8	11.5	11.2	15.6	50.1
	〇〇〇	13.3	12.9	13.1	14.2	53.5
	〇〇〇	9.7	12.1	12.4	8.8	43.0
〇〇〇	〇〇〇	12.5	11.3	15.0	15.0	53.8
	〇〇〇	11.4	10.0	11.8	15.0	48.2
	〇〇〇	17.0	12.4	15.1	15.0	59.6
	〇〇〇	14.7	13.7	14.7	17.5	60.5
〇〇〇	〇〇〇	17.5	11.0	14.0	42.5	